

◆令和4年高齢者叙勲
 ○瑞宝双光章（教育功労）
 片岡 利延さん（西屋代）
 （元公立中学校長）



◆山口県選奨（自治功労）
 椎木 巧さん（西安下庄）
 （元周防大島町長）



▲藤本町長へ受賞の報告に訪れた椎木巧さん⑤



ご当地鍋「みかん鍋」の歩み

改めまして周防大島のご当地鍋「みかん鍋」を詳しくご紹介します。物語のはじまりは周防大島町誕生から2年後の2006年、島はひとつをスローガンに開催されました「周防大島まるかじり」イベントまでさかのぼります。農協・漁協・商工会・観光協会の産業4団体がお互いの長所を持ち寄り「みかんの島」のアイコンとなる名物料理を創り上げようとの思いからみかん鍋は誕生しました。

イベント当日まで各飲食店のメンバーが夜な夜な集まって料理開発に取り組んだことは今も鮮明に思い出されます。会場では大鍋による振る舞いで好評を博しましたが、この時点ではシンボルとなる鍋用みかんは浮かんでいない未完成の状態でした。地産地消を心がけ、イベントだけのメニューでなく各店舗で秋冬の名物料理として提供しようと、さらなるブラッシュアップに励みました。

スライスしたみかんを浮かべる、皮をむいたみかんを浮かべるなど試行錯誤の結果、直径5cm程度の小玉みかんに「鍋奉行御用達」の焼印を押して浮かべること、お鍋のメとしてメレンゲの淡雪雑炊を提供することが決まり、現在のみかん鍋が完成しました。

その翌年からはお取り寄せ鍋の通信販売、みかん胡椒の商品化、お一人様からお召し上がりいただける「みかん小鍋」の提供や、みかん鍋を囲んでの婚活パーティー「鍋婚」の開催、民泊家庭の皆さんを対象とした料理教室の開講、ニッポン全国鍋グランプリの出場など、常に新しいチャレンジを続けてきました。

当初は鍋にみかんが浮かぶビジュアルから厳しいご意見も数多く寄せられましたが、紆余曲折を経ながらも、誕生から10年を迎えるころには、みかん鍋は周防大島のご当地鍋として親しまれるまでになり、その後も山口県のご当地鍋となることを目標に現在もアピールに努めています。

近年では鍋の季節になればテレビや雑誌でご紹介いただき、みかん鍋は周防大島の宣伝部長として大いに活躍してくれていますが、いつかは周防大島町内における学校給食のメニューとして児童に笑顔で食べてもらえたら嬉しい限りです。

令和5年1月22日(日)に開催予定の「周防大島まるかじり」でもみかん鍋を振る舞いますので、この機会に是非ともご賞味ください。



▲鍋用みかんは管理を徹底し安全で安心なものを供給

問い合わせ 周防大島観光協会 ☎ 0820 (72) 2134